

員 会 報 告

平成22年度一般会計予算及び14の特別会計予算について審査を行い、一般会計については、賛成多数で、14の特別会計については、全会一致で可決しました。予算の主なもの及び予算審議の内容は以下の通りです。

①過疎地域における社会基盤生活基盤の整備  
○生活道路の整備 (7億5千800万円)  
○佐白地区交流拠点施設整備事業 (2億4千700万円)

問 どういう経営をしていくのか。  
答 地元要望に基づき計画したもので、現在地元で組織をつくってもらい検討している段階。

問 県の振興資金の補助率は何割か。  
答 補助金はなく、資金を貸してもらえらるもの。  
○尾原ダム周辺道路整備 (7千400万円)  
○遊休施設利活用事業  
・遊休施設を職員提案により再活用を図るもの (300万円)

問 具体的にはどの施設

を改修するのか。  
答 若手職員がチームをつくり提案する。報告書がまとまり次第説明する。  
○公共交通基盤整備  
・バス停、バス、車の整備をするもの (1億800万円)  
○生活バス路線運行費補助金 (3千100万円)  
○情報通信基盤の整備  
・ケーブルテレビの地上波デジタル放送への対応 (1千300万円)

問 各家庭への補助は行わないのか。  
答 まずは非課税世帯を対象に実施する。  
○冬季の除雪対策  
・ホイールローダー3台整備 (2千500万円)  
○町営住宅の建設  
・稲原団地の建て替え (2億700万円)  
○公共投資臨時交付金事業  
・町道舗装・観光施設除雪設備整備等 (4千700万円)  
○きめ細やかな臨時交付金事業  
・公共施設等の整備改修 (2億5千万円)

②雇用対策  
○緊急雇用創出事業  
・平成22年度雇用創出人数55名 (9千300万円)  
○ふるさと雇用再生特別基金事業  
・平成22年度雇用創出人数14名 (5千800万円)  
○林業雇用創出事業  
・林業従事者の育成・確保及び雇用の創出を図る (700万円)

問 補助終了後には、どのような役割を期待しているのか。  
答 3年間の事業であり、経過後は森林組合で雇用を回っていたかたちである。

③地域活性化対策  
○ふるさとづくり交付金  
・これまで各地区にバラバラに出ていた補助金を統合し、各地区振興協議会に一括して交付する (1千700万円)

問 内部での配分に苦労するのではないのか。  
答 地域の主体性を重視し、裁量権をもってやっていた。

○住民提案型きらり輝く地域づくり事業交付金  
・町民自ら企画・実施するまちづくりに対する交付金 (500万円)

問 どのような選考基準に選ぶのか。  
答 外部の審査委員で審査を開き、効果が高いものから選んでいく。

④定住対策  
○定住対策奨励金  
・U・Iターン者への奨励金 (100万円)  
○過疎地域集落再編事業  
・空き家を購入し、整備後定住希望者へ貸し付けを行うもの (2千700万円)  
○地域おこし協力隊事業  
・森林作業従事者の人材誘致を行うとともに、地域力の維持、強化を図る (300万円)

問 具体的な内容は。  
答 国の補助事業であり、都市から移り住んだ方の活躍の場をつくるもの。

業を行う。  
○子ども手当支給事業 (2億800万円)  
・国の施策により平成22年4月より中学生までの子供を対象に1人当たり月1万3千円を支給する本町対象者 (1千600人)  
○多子世帯児童生徒医療費扶助事業  
・3子以降の多子世帯における児童生徒の医療費を中学卒業まで無償86人  
○多子世帯保育料等軽減事業  
・3子以降の保育所、幼稚園の保育料を無料とする。  
○保育所幼児園施設整備事業  
・横田保育所改築に伴い用地取得と測量設計を行う。布勢幼児園整備に伴い現布勢幼稚園舎を0歳児から3歳児未満が入所できる部屋に改修する。  
○不妊治療費助成事業  
・不妊治療を受けているご夫婦の経済負担の軽減を図り、子どもを生みたい方が生めるような環境づくりを推進する。助成額 (特定75千円。一般30千円)

予 算 特 別 委 員 会 報 告

⑥産業の振興  
○有害鳥獣捕獲対策事業  
・農作物に対する鳥獣被害を防ぐための捕獲経費及び防護柵等の整備費 (2千600万円)  
○観光資源活用事業  
・鬼の舌震バリアフリー遊歩道を整備して観光客の増を図る。具体的な内容は遊歩道268mつり橋両基礎工事、休憩所一棟を計画。全体の見込は、遊歩道2億円、つり橋2億1千万円と考えている。  
○住環境リフォーム助成事業  
・下水道接続に係るリフォームに対して助成する。80万円以上で10万円。80万円未満でも5万円の助成

⑦地域医療の確保  
○地域医療における人材確保コーディネート・養成の補助金 (100万円)  
○馬木診療所の整備事業 (4千900万円)

問 馬木診療所開設の用地と建物取得費、工事費等の地方債と一般財源の内容と場所と大きさは。  
答 馬木診療所は地元要望もあり、交通の良所に整備していきたい。

用地は2千800mを1千万円程度で購入し、230mの平屋の建物を購入し、リハビリも行う設備にしたい。診療所に係る備品は対象にはならないため一般財源です。

⑧教育施設の充実  
問 合併特例債は残高はどれくらいか。  
答 20年度末で約13億円、14億円が発行済みで総体的には40億円位ある。  
○亀嵩小学校に太陽光発電装置設置事業 (3千600万円)  
○亀嵩小・馬木小施設整備事業 (1億1千100万円)  
○高尾小学校屋内運動場等改修事業 (500万円)  
○三成小学校改築事業  
実施設計 (1千700万円)  
○仁多中学校屋内運動場等改修事業補強計画及び実施設計 (2億900万円)  
○理科教育設備整備費 (700万円)

問 学校給食費で地産地消 安心安全のため、米は100%だと思いが野菜、肉はどうなっているか。  
答 米は100%、豆類が30%、野菜類が15%、きのこが24%です。

問 学校司書等配置事業は児童生徒にどのような影響があるか。  
答 21年度から始まり、非常に好評で、読書を普及する上で効果があり、22年度は司書配置5時間を馬木小と、阿井小の2校増やし、6校とし、他校は1時間増やし2時間に拡大していきます。  
利用の状況は今ままで100%とすると170%、また図書室が満員で本が借りられない状況です。

⑨地域スポーツの振興  
○ホッケー競技振興事業 (300万円)

⑩新エネルギー施策  
環境対策  
○バイオマスタウン構想策定費 (300万円)  
○不燃物埋立処分場嵩上げ事業 (2億6千万円)

⑪防災対策  
○消防ポンプ車整備事業 (1千700万円)  
○消防防災施設整備事業 (2千400万円)  
○地域防災スクールモデル事業 (300万円)

問 災害対策費の中にハザードマップ等の印刷品購入が25万5千円入っているが町でやるのか地域におろすのか。  
答 基本的には県がやっている土砂災害防止の地域指定のマップをベースに、町で策定している防災計画の避難所等を入れて最終的マップにする。

討論  
(反対討論) 塔村俊介議員  
なぜ温泉かということとお金の問題であり、この温泉に関する予算を今回の予算から取り下げていたとき、全体像が見える、明確な佐白活性化の計画を示すこと。そして、その計画を住民の皆さん方に示し、議論をした上で、改めて温泉に関する予算を立てていただくことである。

(賛成討論) 松崎正芳議員  
長年にわたり、ダムも当初のときからのいろいろな地元との折衝の中で、組み立てられてきたもので、地域からの強い、「寂れていけない」という要望

を酌んでのものでございます。この予算で進んでもらわないと私は困ると思います。

(反対討論) 大垣照子議員  
ダム移転ということであれば、バランスを考えると必要であります。具体的なことが何も見えず、説明責任も不十分で、これほどの予算、借金を計上して建設することは、多くの住民の皆さんの理解は得られません。

また、鬼の舌震バリアフリーの遊歩道についても住民生活の厳しさや、負担について、真剣に考えていただきたい。

(賛成討論) 景山孝志議員  
町民の生活向上に向け、適切で積極的な投資事業が計画されております。また、一方では健全財政化に配慮され、有利な起債事業等経営的経費の節減など、徹底していると考えます。ダムが完成すれば、奥出雲町の新たな大きな財産になり、交流の場、笑顔と語らいにあふれるみんなの温泉施設として完成することが必要と考えております。